

簡易ターミナルR T e r m 使用法

使用法

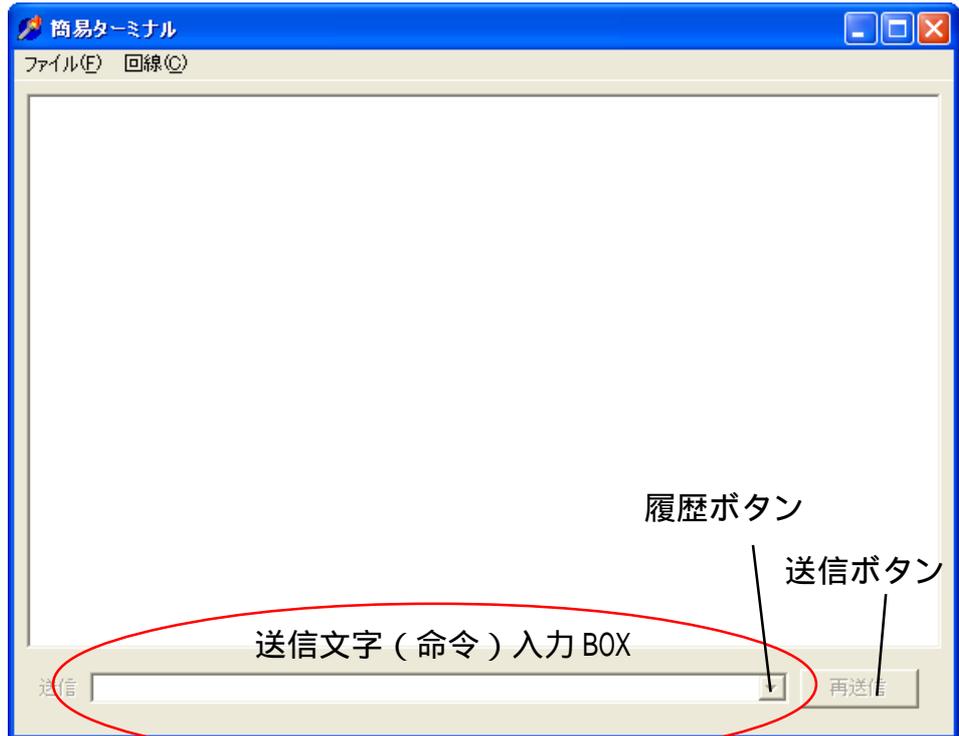
RtermはCOMポートを利用して、RBI0ボードに対してコマンドの送信と実行結果の受信を行うソフトです。COMポート接続を利用する弊社製ボード、RBI0-1、2U、3E、4S、5P、6Aでコマンドの送受信の試験が行えます。プログラムのインストールは必要ありません。

C D に収録されている

「RTerm」(表示設定によってはRTerm.exe)を適当なフォルダにコピーしてご利用ください。

RTermをダブルクリックすると起動します。右の状態が起動直後の画面です(XPで実行していますので、Vistaとは外形イメージが異なります)

上部のメニューは二つがありません。



1、ファイルメニュー

メニュー内には4つのサブメニューがあります。

- キャプチャ開始
- キャプチャ終了
- 送信も含める
- 終了

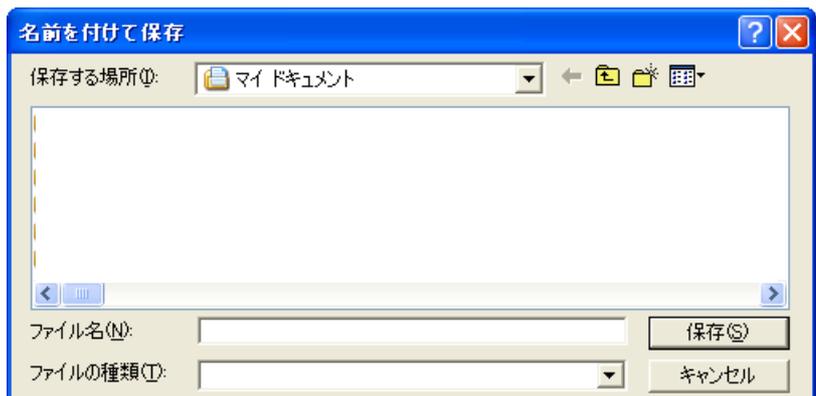
・キャプチャ開始

RBI0からの応答メッセージをファイルに記録します。

ファイル キャプチャ開始と選択すると、右の様なキャプチャファイルのファイル名を入力するBOXが開きます。記録したいファイルの名前を入力して保存をクリックしてください。

(log.txt等)

*注意：既に存在するファイル名を指定しても、上書き警告は出ません。重要なファイルを上書きしない様に注意してください。保存のクリックで指定されたファイル名のファイルが生成され、停止するまでにRBI0から受信した内容が順次書き込まれます。



・キャプチャ終了

キャプチャを終了します。

ファイル キャプチャ終了 と選択すると、キャプチャファイルへの記録が終了します。

・送信も含める

キャプチャ中のファイルに送信したコマンド文字を記録するかどうかの選択を行います。

「送信も含める」の前にチェックマークが付いている場合は、送信した文字(命令)もキャプチャファイルに記録されます。

ファイル 送信も含める を選択する度に記録の有無が反転し、チェックマークが付いたり消えたりします。

起動直後はマークが外れており、送信文字はキャプチャファイルに記録されません。

・終了

ファイル 終了 と選択すると、RTerm が終了します。記録中のキャプチャファイルがある場合は閉じられます。

また使用中のCOMポートは開放され未使用となります。

2、回線メニュー

メニュー内には4つのサブメニューがあります。

接続

切断

COM番号設定

通信速度

・接続

指定のCOMポートとの接続を開始します。

回線 接続 と選択すると接続します。

既に接続済みのCOMポートで接続を行った場合は、右の表示がでますので、OKをクリックしてください。

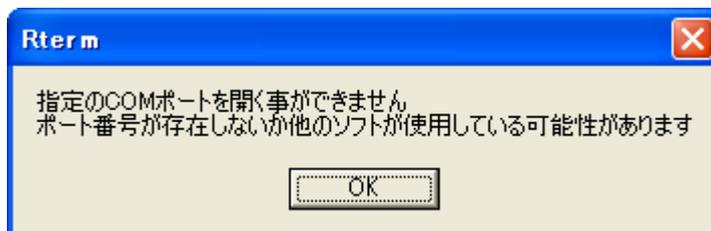
この場合、接続状態に変化はありません。



回線 (COMポート) が利用できない場合は、右下の表示がでますので、OKをクリックしてください。

この表示が出た場合、接続に失敗しています。

原因としては、COMポートの番号間違い、他の通信ソフトが該当ポートを使用している、強制終了を行ったため回線(COMポート)が利用されたまま開放されていない等が考えられます。



・切断

現在接続中の回線を切断します。

回線 切断 と選択すると回線が切れます。

回線は切断されますが、キャプチャファイルを利用している場合は、キャプチャ状態は有効のままです。

再度、接続を行った場合は、引き続きキャプチャされます。

・COM番号設定

COMポートの番号を選択します。

接続状態ではこのメニューはグレーで表示され、選択する事はできません。

COMポートの番号選択は、**接続前**に行ってください。

このメニューにはさらに下位のメニューがあります。

回線 COM番号設定 と選択を進めるとCOM1からCOM30の選択が出ます。

利用するCOM番号を選んでください。

選択したCOM番号の頭には、チェックマークが付きます。

ソフトを終了させた場合、利用していたCOM番号は保存されます。次回から同じCOM番号を利用する場合は、改めて選択する必要はありません。

・通信速度

COMポートの通信速度（ボーレート）を選択します。

接続状態ではこのメニューはグレーで表示され選択する事はできません。

通信速度の選択は、**接続前**に行ってください。

全てのRB10シリーズは**9800bps**で通信を行うため、初期状態から変更していない場合は、この項目を選択する必要はありません。

また、同様の理由により、他の通信速度による接続検証は行っていません。

回線 通信速度 と選択を進めると300bpsから38400bpsの選択が出ます。

利用する通信速度を選んでください。選択した通信速度の頭には、チェックマークが付きます。

ソフトを終了させた場合、指定した通信速度は保存されます。

3、操作

文字列（命令）を送信する場合。

この操作は**接続状態**でないと実行できません。接続が完了するまでは、文字列（命令）の入力窓はグレーアウトされており、操作できない様になっています。

接続完了後、画面下の「送信」と書かれた窓（4ページの起動画面の下にある赤枠で囲った場所）に文字列（RB10の命令）を入力した後、キーボードの「Enter」を押すか、入力窓の右にある「再送信」ボタンを押してください。

Enter、再送信とも、RB10に向かって入力した文字（命令）を送信しますが、入力窓の扱いが異なります。

・キーボードのEnterで送信した場合

入力窓に入れた文字（命令）を送信した後、表示がクリアされます。

次々に新たな文字（命令）を入力する場合に使用します。

・再送信ボタンで送信した場合

入力窓に入れた文字（命令）を送信した後、表示がそのまま残ります。

同じ文字（命令）を複数回送りたい場合に使用します。

***注：**RB10シリーズは、命令の終端として改行コード（CRコード、16進で0x0d）を必要とします。

このコードは、本ソフトの場合、入力した文字（命令）に**自動的に追加**して送信されます。

履歴に付いて

文字（命令）入力窓の右端に、小さな下向き三角 ” ” をクリックすると、今まで送信に利用した文字（命令）を呼び出す事ができます。

送信した文字は、同じ文字列を除き、履歴記録する様になっています。

4、その他

本ソフトはRB10に特化しているため、次の固定的な事項があります。

- ・送信データのフォーマットは8bit、1stop bit、パリティなし。
- ・文字列の最終に必ずCRコード(16進で0x0d)が挿入される。

5、利用に付いて

RB10シリーズはユーザ様でプログラムを製作し、動作させるための素材ボードです。しかしながら、プログラム完成前でも、ハード環境確認や動作チェックが必要な場合があります。その様な場合に本ソフトをご利用ください。

・使用条件

本ソフトはRB10の動作試験を行うために無償で提供されます。

本ソフトは全ての機器の組み合わせで動作する事を保障するものではありません。また本ソフトの不具合により発生した如何なる損害も直接的、間接的を問わず共立電子産業は一切の保障を致しません。

本製品のお問い合わせは

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1
共立電子産業株式会社、ケイシーズ担当までお願いします
TEL (06)6644-0021
FAX (06)6644-0824
Email:keiseeds@kyohritsu.com

Copyright 1999 ~ 2008 (C) 共立電子産業株式会社